

公開質問状

読売新聞社 代表取締役社長 白石興二郎殿

マスメディアの報道を正す市民の会

代表 志岐 武彦

石川 克子

『審査日「議論煮詰まった」－代表戦当日偶然の議決』に関する質問

貴社は、小沢起訴議決発表に際し、2010年10月6日『審査日「議論煮詰まった」－代表戦当日偶然の議決』記事（添付1）を掲載しました。この報道内容は、いくつかの点で、私達が官庁から入手した資料情報と大きく異なります。貴社は、重要な事柄に対し、事実を確認せず報道をしたということです。このような情報発信は、購読者および国民にあらぬ予見を与え、間違った世論の形成を誘導してしまうこととなります。報道機関としてあってはならないことです。以下に、貴社の報道内容が他情報と異なる点を指摘し、それらに関し質問をさせていただきます。

1. 貴紙報道：「11人の審査員たちは、お盆休みのある8月中は隔週でしか集まれなかったが9月に入ってから、平日に頻繁に集まりを行った」

会計検査院から入手した会計伝票による情報：「8月の会議開催日は8月4日、10日、24日、31日となっている。また、9月は議決日までは9月6日しか開催されていない。（添付2）」

質問1：この報道内容はどこから入手されたものですか？

答：

質問2：この報道内容の信ぴょう性をどのように確認しましたか？

答：

質問3：この報道内容は正しいと考えていますか？

答： 正しい 正しくない （該当を丸で囲んで下さい）

質問4：「正しい」と答えた場合その根拠は？

根拠：

2. 貴紙報道：「9月上旬には、起訴議決を出す場合に義務付けられている検察官の意見聴取を行った」
東京地方検察庁から入手した出張管理簿（2010年4月～9月14日253枚）からの情報：齊藤検察官は9月14日以前に検察審査会に赴いて説明を行ったという出張記録はない。（添付3）」

質問5：この報道内容はどこから入手したものですか？

答：

質問6：情報の信ぴょう性をどのように確認しましたか？

答：

質問7：この報道内容は正しいと考えていますか？

答： 正しい 正しくない （該当を丸で囲んで下さい）

質問8：「正しい」と答えた場合その根拠は？

根拠：

3. 貴紙報道：『議長役を務める審査会長が審査中に「議決を取りますか。それとも先に延ばしますか」と提案したところ、審査員から「議決は煮詰まった」との声が上がり議決を出すことになった』

この報道以前の9月8日、貴紙はじめ大手6紙が「審査補助員の選任により審査が本格化し、10月末に議決される公算が大きくなった」と報道している。（添付4）

ところが、添付2の資料からは、9月8日以降一度も審査会議を開かれず、6日後の9月14日に起訴議決されたことになっている。「議論が煮詰まった」などと発言する審査員は本当に存在するのですか？

質問9：貴紙報道の情報はどこから入手しましたか？

答：

質問10：貴紙報道の情報の信ぴょう性をどのように確認しましたか？

答：

質問11：「議論が煮詰まった」などと発言する審査員は本当に存在すると考えておられますか？

答：存在する 存在しない （該当を丸で囲んで下さい）

4. 1. ～3. の国民を惑わせる記事を掲載したことに対して

質問12：購読者及び国民にどのような謝罪をしますか？

答：

添付資料 添付1：読売新聞2010年10月6日付朝刊記事

添付2：審査会議開催日と審査員・補充員出席表

添付3：出張管理簿 2枚

添付4：大手6紙2010年9月8日付朝刊記事

回答期限は2012年7月31日までに下記住所宛にお願いいたします。

回答送付先

志岐 武彦